

令和7年度 第11回 県政インターネットモニターアンケート（富士山世界遺産課、子ども家庭課）

※表の中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数：440人（回答率：85.6%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	180	40.9%
	女性	255	58.0%
	その他	5	1.1%
年代	10代	7	1.6%
	20代	39	8.9%
	30代	36	8.2%
	40代	74	16.8%
	50代	121	27.5%
	60代	86	19.5%
	70代	54	12.3%
	80代	23	5.2%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	3	0.7%
	東部	139	31.6%
	中部	160	36.4%
	西部	138	31.4%
	県外	0	0.0%
職業	自営業	34	7.7%
	会社員	142	32.3%
	公務員	15	3.4%
	パート・内職従事者	84	19.1%
	学生	31	7.0%
	無職	114	25.9%
	その他	20	4.5%

○静岡県内の世界遺産に関するアンケート

問1（回答数1） n=440			
	人	%	
1 知っている	435	98.9%	
2 知らない	5	1.1%	

問1-2（回答数複数回答可） n=435			
	人	%	
1 静岡県のホームページ	78	17.9%	
2 SNSによる口コミ情報	28	6.4%	
3 テレビの情報番組	367	84.4%	
4 新聞や雑誌に掲載されていた富士山に関する記事	216	49.7%	
5 その他（自由記載）	15	3.4%	

問2（回答数1） n=440			
	人	%	
1 ある	141	32.0%	
2 ない	299	68.0%	

問2-2（回答数複数回答可） n=141			
	人	%	
1 静岡県富士山世界遺産センター	72	51.1%	
2 県が主催する県民講座等、行政機関が実施する富士山に関する学習会	7	5.0%	
3 静岡県のホームページ	17	12.1%	
4 テレビの情報番組	61	43.3%	
5 新聞や雑誌に掲載されていた富士山に関する記事	75	53.2%	
6 その他（自由記載）	25	17.7%	

問3（回答数1） n=440			
	人	%	
1 富士山世界遺産センター等、富士山に関する施設の充実	204	46.4%	
2 富士山に関する県民講座等の開催	89	20.2%	
3 SNSや動画サイトを活用した情報発信	197	44.8%	
4 新聞や雑誌での記事掲載	147	33.4%	
5 富士山麓地域への観光周遊促進	107	24.3%	
6 その他（自由記載）	30	6.8%	

問4（回答数1） n=440			
	人	%	
1 知っている	401	91.1%	
2 知らない	39	8.9%	

問4-2（回答数複数回答可） n=401			
	人	%	
1 登山規制パンフレット	18	4.5%	
2 静岡県のホームページ	43	10.7%	
3 SNSによる口コミ情報	42	10.5%	
4 新聞や雑誌に掲載されていた記事	218	54.4%	
5 テレビの情報番組	325	81.0%	
6 その他（自由記載）	11	2.7%	

問5（回答数1） n=440			
	人	%	
1 知っている	372	84.5%	
2 知らない	68	15.5%	

問5-2（回答数複数回答可） n=372			
	人	%	
1 富士山反射炉の施設見学	71	19.1%	
2 県が主催する県民講座等、行政機関が実施する学習会参加	7	1.9%	
3 静岡県のホームページ	46	12.4%	
4 SNSによる口コミ情報	28	7.5%	
5 テレビの情報番組	279	75.0%	
6 新聞や雑誌に掲載されていた記事	183	49.2%	
7 その他（自由記載）	24	6.5%	

○「ヤングケアラー」に関する意識調査

問1（回答数1） n=440			
	人	%	
1 聞いたことがあり内容も知っている	381	86.6%	
2 聞いたことがあるが内容は知らない	49	11.1%	
3 聞いたことがない	10	2.3%	

問2（回答数1） n=440			
	人	%	
1 知っており内容も知っている	144	32.7%	
2 知っているが内容は知らない	119	27.0%	
3 知らない	177	40.2%	

問3（回答数1） n=440			
	人	%	
1 いる（いた）	42	9.5%	
2 いない	398	90.5%	

問4（回答数複数回答可） n=440			
	人	%	
1 学校に連絡する	98	22.3%	
2 民生児童委員に連絡する	91	20.7%	
3 市町の行政機関に連絡する	158	35.9%	
4 警察に連絡する	21	4.8%	
5 家族、知人、友人に相談する	115	26.1%	
6 本人に様子を聞く	127	28.9%	
7 その他（自由記載）	7	1.6%	
8 何もしない	47	10.7%	
9 わからない	71	16.1%	

問5（回答数複数回答可） n=440			
	人	%	
1 ヤングケアラーの相談窓口の開設（電話相談・LINE相談）	169	38.4%	
2 ヤングケアラーの居場所の提供（東部地域、中部地域、西部地域）	58	13.2%	
3 ヤングケアラー支援者のためのヘルプデスクの設置	43	9.8%	
4 ヤングケアラー支援者への研修	26	5.9%	
5 ヤングケアラー理解促進のためのマンガ作成	24	5.5%	
6 知らない	244	55.5%	

問6（回答数複数回答可） n=440			
	人	%	
1 「ヤングケアラーの相談窓口」をさらに周知すること	241	54.8%	
2 学校等に相談窓口や相談できる人を設けること	240	54.5%	
3 学校等で子ども・若者にアンケート調査を行うこと	168	38.2%	
4 県や市町の役所に相談窓口があること	163	37.0%	
5 1～4以外の専門機関に相談窓口を設置したり、相談できる人がいること	111	25.2%	
6 マンガや動画などで、ヤングケアラーをわかりやすく理解できるようにすること	125	28.4%	
7 県が県民向けのヤングケアラーに関する講演会を行い、理解促進を図ること	44	10.0%	
8 「ヤングケアラー」の支援に関する条例があること	93	21.1%	
9 その他（自由記載）	16	3.6%	